

# 図書だより



平成31年1月24日

担当 山本 尚美

No.17

## ファミリー読書の感想です No.6

ファミリー読書についての感想、たくさんありがとうございます。今回は6年生の保護者の皆さんのコメントです。

この本は娘のお勧めの本でした。大人になってからはなかなか手に取ったことのないような本でしたが、読んでみるととても面白い内容でした。どの世界でもそうですが、天狗になって調子に乗るのはいけないことだなと思いました。また機会があれば子どもたちのお勧めの本を読みましょうと思います。きっと何かしら得るものがあるはずです。(銭天堂2)

子どもの感想を読んで、この本のメッセージをちゃんと理解できていることがよく分かりました。そして、この本を読んでほしいと思った理由も伝わってとても嬉しいです。親としては子どもには人生を謳歌してほしいと願いますが、辛いことも時にはあるもの、でもそれは生きているからこそです。幸せの形は様々。日々を大切に生きて、自分の人生が築けますように。(それでも僕は夢を見る)

大好きな西野あきひろさんの本と一緒に読めてよかったです。子どもたちの体調が悪くなったら私もサンボーンチャみたいに星に願い事を三回しようと思いました。

(Dr.インクの星空キネマ)

親は、「よいところ」に大きな意味を持ちすぎて、小さなそして当たり前と思いがちなところを見逃しがちです。しかし、子どもの目線というのは、大小問わず友だちのよいところを見つけます。よいところ見つけの天才かもしれないと思いました。娘にも自分のいいところをたくさん見つけてほしいと思いました。(ええところ)

「書店」という小さな空間にとっても大きな無限の広がりを感じました。いつも目にする本がただの読み物でなく生活の道具であったり大切な相談相手や友だちであったり、時には世界を救うものであったりもするんだよということがとても面白く自然に描かれていました。『本の面白さ』が分かるお勧めの一冊です。(あるかしら書店)

普段本を読むことがないので私も楽しんで読める本を選書。5分でストーリーが完結し無理なく読めました。何個目かのストーリーを読み進めるうちに結末を想像しながら読むようになって「あのストーリーの最後は怖かったね。」なんて会話ができて親子読書の良さを感じました。(5分後に意外な結末)

子どもが選んだ一冊を読みました。掃除嫌いだった男の子が友だちから受けた注意で生まれ変わり、毎日使っている教室だけでなく図書室や他のクラスまで張り切って掃除するようになったのが印象的でした。友だちと協力して取り組むことや、学校の物を大切にすることが育つといいなと思いながら読みました。(おそうじ隊長)

「お母さん、この本面白いよ。」と言って出してくれました。何冊かシリーズで買いましたが、読むのは初めてでした。あり得ない発想だけれど、もしかしたら本当にできるかも？と感じてしまうような話でした。「共感できておもしろかった。」という娘の言葉にはっとさせられ、嬉しい気持ちになりました。(ドリトル先生物語)

さすが6年生。子どもからおうちの方へ本を選んで渡す人もいましたね。これからも機会を見つけてファミリー読書をしてほしいです。ご協力をありがとうございました。